

◆【全国発信記事】 気仙沼支部

遠洋マグロはえ縄漁船の新造船

第三十八清福丸の出船送り

6月13日、気仙沼港から遠洋マグロはえ縄漁船の新造船・第三十八清福丸(487トン)が、家族や関係者に見送られ出港した。

本船の主な特徴は、枝縄を巻き取るために、最新鋭の2段変速式枝縄巻き取り機を備え省力化を図ったほか、船内のインターネット環境を整備した点にある。LINEなどが使用できることで、乗組員が常時、家族や友人と通信可能となる。また、インターネット環境の利点を最大限に生かし、今までは全て乗組員に任せていた新人教育を陸上からもサポートすることで、後継者の確保・育成を目指す。

岩間広治漁労長は「漁労長として、会社から新造船を任せられたことはありがたいし、身の引き締まる思いだ。安全航行と大漁を目指し頑張りたい」と意気込みを語った。

本船の出船送りでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の盛大な出船送りは行われなかったが、福来旗や五色のテープで、新造船の出港を盛り上げた。

「海員だより」